



デジタルデバイドを考慮した応募方法を採用する

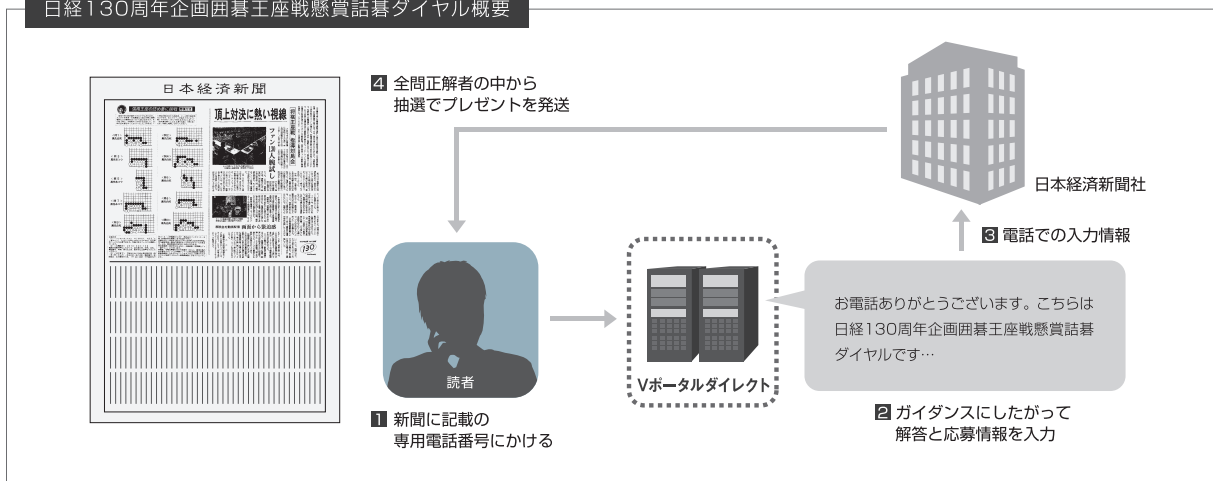
株式会社日本経済新聞社様

インターネットに馴染みがない世代でも手軽に応募できる仕組みを。

Vポータルダイレクト導入前の課題とソリューション

- 創刊 130 周年を迎えるにあたって、囲碁ファンに、より影響力のある記念キャンペーンを行いたい。
- インターネットを使わなくても、クイズに参加できる環境を整えること。

日経130周年企画囲碁王座戦懸賞詰碁ダイヤル概要



インターネットに馴染みのない世代を懸賞クイズに参加させる

日本経済新聞社では創刊 130 周年記念の特別イベントに、詰碁作りの名手、張栩王座が作成した詰碁 10 問を、本紙夕刊と Web サイト「e-碁サロン」に掲載し、読者からの回答を募集するというキャンペーンを実施した。今回、この懸賞詰碁クイズを行ううえで、重要視されたことは、だれもが応募できるということだった。新聞の幅広い読者層を考えると、インターネットを使わなくてもクイズに参加できる応募環境が必要であり、その結果 V ポータルダイレクトが採用された。

オペレータなしでクイズ応募に対応

V ポータルダイレクトは 24 時間対応の自動受付窓口を設置することができるため、クイズ参加者は、いつでも思ったときにすぐ応募することが可能だ。また 24 時間自動応答なので、オペレータも不要で人件費の削減も期待できる。V ポータルダイレクトは、導入決定から運用開始までが迅速であり、また利用は最短で 1 ヶ月間から申し込めるので、キャンペーン期間中だけの利用が可能であることもコストパフォーマンスという点で評価できたという。さらに応募者には音声ガイダンスにしたがい、応募者情報を音声やプッシュボタンで入力してもらうため、囲碁に関心のある読者データを簡単に収集することができたことも V ポータルダイレクト導入のメリットだ。

導入決定のポイント

- ハガキよりも手軽に応募できる。
- 低コストでだれもが応募しやすい「電話」という応募環境を準備できる。

導入の効果

- 新聞の公共性を考慮して、だれもがすぐに応募しやすい手段が取れた。
- 応募者の属性データを簡単に収集できた。